

保育園等の新型コロナ感染防止対策について

【ご意見】

先日、小学生の子どもが新型コロナの濃厚接触者になったため、PCR 検査を受けました。

保育園を利用している園児の同居家族に濃厚接触者が出た場合は、検査での陰性が確認されるまでの間登園を控えるよう保育園から言われていたので、陰性が確認された翌日から登園しました。

すると、お昼寝や食事は他の児童とは隔離して行う旨保育園からお話がありました。

陰性が確認されているにもかかわらず、隔離をされる根拠は何なのでしょう？

そもそも濃厚接触者の同居家族に対しては、保健所などから行動の制限はされていませんが登園を控えるように呼びかけられています。

これについては、検査で陽性だった場合に濃厚接触者や接触者を判別する作業がかなり大変であろうことは想像がつきますので、それを軽減するために行っている措置であることは理解できます。

しかし、今回は、陰性だったため濃厚接触者から同居家族に対して感染させることはありませんし、さらに他の園児に対して感染を拡大させるリスクもありません。

もちろん検査結果が 100%正しいとは限りませんが、少なくとも隔離を行う必要がある状況ではありません。

このような過剰な対応こそが、感染者に対する差別意識を助長しているように思います。

行政にはぜひとも科学的根拠に基づいた活動をしていただきたいと思います。

お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答：保育課】

このたびは、お子さまの登園自粛後の保育について、ご不快

な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。

市立保育園では同居のご家族に新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者が確認された場合、PCR検査の結果が判明するまでの間、登園自粛をお願いしています。

ご指摘のとおり、濃厚接触者のご家族の登園自粛は念のための協力のお願いであり、保健所からの行動制限の要請対象ではございません。

PCR検査の結果、陰性が確認された場合は登園いただくことができ、園内で何ら制限を受けるものではございません。

このたびの園内での保育に関する対応は、根拠のない過剰なものであり、感染者や濃厚接触者、またそのご家族への誹謗中傷や差別を助長することにつながりかねません。

担任保育士、園長の新型コロナウイルス感染症に関する対応への理解が不足していたことがこのような事態につながってしまい、関係職員全員が反省しております。

今後は、保育園・保育課職員全員で改めて新型コロナウイルス感染症に対する理解を深め、保育園をご利用いただく園児や保護者様が、ご不快な思いや不安を感じることはないよう保育を行ってまいりますので、ご理解をお願いします。